

かわいそうだから...



のらねこのエサやり

わあわあ
おっさん!!

それって本当に猫のため?

あなたがエサをあげた

その猫が近所の家でフンや尿をして困らせているかもしれません。
その猫の生んだ仔猫が車にひかれるかもしれません。
その猫にエサをやることで不幸な猫が増えるかもしれません。

例えば...繁殖制限をせずにエサやりだけしていると...



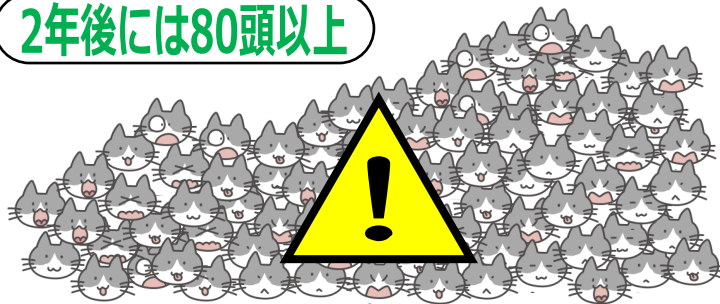
1頭のメス猫が...



1年後には20頭以上



2年後には80頭以上



**無責任なエサやりは動物愛護ではありません。
エサをあげれば飼い主と同じ。
その命と行動に責任があります。**

🐱 猫の適正飼養について 🐱

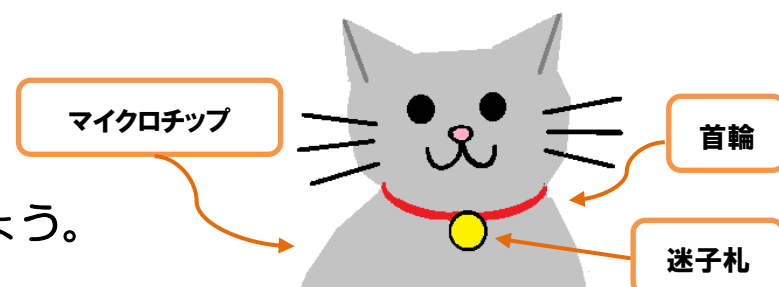
1 猫の「室内飼い」をすすめています。

- 交通事故、感染症、迷子、予期せぬ繁殖・・・屋外には危険がいっぱい。
- ふん尿被害、花壇を荒らす、爪で車を傷つけるなど、御近所に迷惑を掛けている恐れもあります。
- また、災害時に同行避難ができるように室内で飼いましょう。



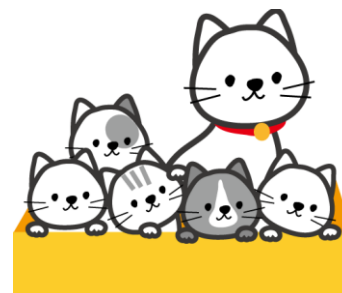
2 所有者明示をしましょう。

- 迷子札やマイクロチップにより、迷子時や災害時に備えましょう。



3 不妊去勢手術を受けさせましょう

- 猫は繁殖力が強く、年2～4回、1回に4～8匹出産することもあります。
- メスの子猫は生後4～12ヶ月で繁殖、オスの子猫は生後8～12ヶ月で交尾可能になります。
- 手術をすることで、マーキング（尿スプレー）や発情などを防ぐことができ、飼いやすくなります。



4 野良猫に餌を与えた結果、不幸な子猫が生まれるケースが増えています。

- 野良猫に餌を与えている方は、その猫の管理者（飼育者）となります。猫に不妊去勢手術を受けさせ、ふん尿の後始末は管理者が責任を持って行い、まわりに迷惑をかけないようにしましょう。



お問い合わせ先

福島県動物愛護センター「ハピまるふくしま」 024-953-6400

本宮市役所市民部生活環境課 0243-24-5362